

事務事業名		塩谷町立大宮小学校プール大規模修繕事業				<input type="checkbox"/> 事後(中間)評価対象事業				
総合計画	政策名	0:2: 豊かな人を育むまちづくり				所属課	学校教育課	担当	学校教育担当	
	施策名	0:2: 教育環境の充実				課長名	手塚 健一	担当者名	平石 順一	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業コード名	関係法令・条例等		
		1	0:9	0:2	0:1	0:0:4	小学校管理費			
事業期間		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度		年度)	<input type="checkbox"/> 期間限定 (年度~	年度)
事務事業の概要 (事務事業の内容を記載)		<p>1 事務事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大宮小学校プールは使用開始より40年以上が経過し、プール本体、プールサイド、ろ過装置が老朽化し、毎年修繕を繰り返していることから、大規模修繕を行う必要がある。また、プールの保有が無いと町外民間プールを利用することになり(平成29年度船生小は町外民間プール利用予定)、町外民間プール利用によるランニングコストの歳出を防ぐ。 例) 民間プール利用時歳出コスト 6学年×スクールバス1回1.5万円×10回+民間プール利用料15万円×3班×10回=年間5,400,000円 ・小学校は必修授業として、年間10時限の水泳の授業が必要であり、修繕することにより移動時間の削減、確実な授業時数の確保につなげることが出来る。 ・現状利用コスト 保守及びろ過機内濾材交換費 182,520円 プール水道料 128,460円(H28年度) <p>2 概算事業費</p> <p>プール本体修繕 12,960,000円 プールろ過装置修繕 9,730,800円</p>								

(1) 事務事業の目的と指標		(4) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 活動の計画(活動の量・大きさ・規模等)	大宮小プールの維持	名称	単位
② 対象(事業は誰・何を対象にしているのかを記載)	大宮小に通学する児童	ア プール一式	施設
③ 目標(この事業によって、対象をどうしたいのか記載)	プールの長寿命化及び授業時数の確保	イ 児童数	人
		ア プール一式	施設
		イ 授業時数	時数

(2) 指標・総事業費の推移		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度 総合計画 最終年度
活動指標	ア	目標値 施設		1	1	1	1	1
	イ	実績値 施設						0
対象指標	ア	目標値 人		163				0
	イ	実績値 人						0
成果指標	ア	目標値 施設		1	1	1	1	1
	イ	実績値 時数		10	10	10	10	10

計画		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					0
	事業内訳	県支出金 千円					0
		地方債 千円					0
		その他 千円					0
		一般財源 千円		22,691			0
		事業費計(A) 千円	0	22,691	0	0	0

実績		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成32年度
投入量	事業費	国庫支出金 千円					0
	事業内訳	県支出金 千円					0
		地方債 千円					0
		その他 千円					0
		一般財源 千円					0
		事業費計(A) 千円	0	0	0	0	0

評価項目	説明	事前評価結果	実施後の状況	事後評価結果
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 なぜこの事業を町が行わなければならないのですか？税金を投入して、達成するものですか？	町立学校設備における児童の教育環境を整えることは町の責務である。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
有効性評価 ② 着手・実施の必要性 この事務事業をなぜ着手・実施しなければならないのか？先延ばしにできない理由は何か？	使用開始より40年以上が経過したことにより老朽化が著しく進んだ為。また、学校からの強い要望の為。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
効率性評価 ③ 総事業費の算定根拠 算定にあたってコスト削減策を考えたか？将来のコスト増要因に対して対策が考えられているか？	大規模修繕を行う事でプールが無くなることを防ぎ、民間プールの永続利用をしない事による、ランニングコストを抑える事が出来る。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり
公平性評価 ④ 受益と負担との関係 事業の内容は受益と負担との公平性が考慮されているか？	学校教育で授業が義務化されており、必要なものである。	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり		<input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し 余地あり

3 事前評価結果

事前評価日： 平成 28 年 12 月 1 日

(1) 事前評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 1次案のまま採択 <input checked="" type="checkbox"/> 下記条件で採択 <input type="checkbox"/> 不採択 <input type="checkbox"/> 差し戻し	
(2) 採択条件 ・今回は、ろ過装置のみ修繕することとする。	(3) 指示事項(事務事業に関する指示、事後(中間)評価日程等)

4 成果検証

事後(中間)評価日： 平成 年 月 日

事務事業実施後の概要 (実施しての効果、受益者等の反応、問題点、課題等を記載)	
--	--

(1) 評価結果(今後の方向性) <input type="checkbox"/> 優(成果大) <input type="checkbox"/> 良(良好) <input type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可(成果なし・中止・計画変更必要)	
(2) 総評	(3) 指示事項 <input type="checkbox"/> 再評価対象事業